

令和5年度（2023年度）事業報告書

本財団で行う研修及び研究

本財団は、設立以来専ら精神分析の研修、研究事業を実施することによりわが国の精神保健の向上のため努力し、成果を上げています。本年度もこれらの方針を継続し、下記事業を計画し、実施しました。

医師・臨床心理士等に対する精神分析および精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー16件（うち新規2件）、単発セミナー7件（うち新規1件）、30周年記念事業および出版・広報事業1件を実施しました。

I. 研修事業

1. 通年セミナー

(1) 小寺精神分析的セラピーケースセミナー（第4期）

目的：2020年度より開始した精神分析的セラピーのケースセミナーです。主に週一回の成人の精神分析的セラピーのケースを、ある程度実績を持つ中堅のセラピストの方々にご提示願ひ、それに対してシニアの臨床家がコメントをし、フロアと討論します。ファシリテーターは藤山直樹が務めます。いま現実にはどのような精神分析的なケースが日本で展開しているのかに触れながら、参加者の臨床実践や訓練に何らかの示唆やヒントを生むことができればと考えています。

対象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っており、守秘義務を負っている方。

開催期間：2023年5月～2024年3月

第3土曜日原則、午後7時～9時、全10回

開催場所：会場（TKP市ヶ谷カンファレンスセンターあるいはTKP新宿西口カンファレンスセンター）およびZoomウェビナーによるハイブリッド

参加費：50,000円

参加人数：100名

企画及び担当：藤山直樹

日時	コメンテーター	症例提示者
5月20日	松木邦裕	保阪玲子
6月17日	妙木浩之	山口昂一
7月15日	富樫公一	坂元龍太
9月16日	小川豊昭	山崎孝明
10月21日	吾妻 壮	富田悠生
11月18日	岡田暁宜	高梨奈保
12月16日	古賀靖彦	菅田雄介
1月20日	十川幸司	内田 亮
2月17日	奥寺 崇	小尻与志乃
3月16日	岡野憲一郎	長沼佐代子

(2) 精神分析的な心理療法セミナー（第15期）

目的：原則として週一回の頻度で行われる精神分析的な心理療法についての事例検討会です。

その臨床実践の中で日々経験している難しさや限界、臨床的成果、さらには精神分析的に考えることの大切さと手応えなどを皆で確認し、共有することを主たる目的としています。事例検討を通して、精神分析的な理解と技法のさらなる深化を図ることが出来ればと思います。

対 象：中堅以上の心理療法家で、十分な臨床経験と研修歴をお持ちの方。

講 師：岩倉拓、中村留貴子、深津千賀子、妙木浩之、岡田暁宜、高野晶

コーディネーター：北村麻紀子・小尻与志乃

開催期間：2023年4月～2024年3月

第1金曜日原則、午後7時30分～9時30分、全11回

4/7、6/2、7/7、8/11、10/6、12/1、1/8、2/2、3/1（下線は2コマ）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加費：60,000円

参加人数：14名

企画者：中村留貴子

担当委員：藤山直樹

（3）体験グループセミナー（第29期）

目 的：精神分析、力動的精神療法の方向付けを基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とします。

対 象：すでに個人精神療法の経験をもち、心理学、力動精神医学的知識と実践がある方、さらに家族、大小グループなど、また精神科病院、クリニック、デイケア、その他で、実際に何らかのグループによる臨床場面をもち、この研修への要請の強い方から優先的に参加していただきます。1期1年間として、2年間の継続参加（2年目は再契約）を基本単位とします。

講 師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2023年5月～2024年3月

第4金曜日原則、午後7時～8時30分、全10回

場 所：5/26、6/23、7/28 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

9/22、10/27、11/24、12/22、1/26、2/16、3/22 小寺財団セミナールーム

参加費：50,000円

参加人数：26名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

（4）グループ理論研究セミナー（第28期）

目 的：精神分析、力動的医学を基礎におく集団精神療法の臨床または指導者の養成を、理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的とします。

対 象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある、守秘義務をもつ専門家で、ことに事例提供が可能な方を原則とします。

講 師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2023年5月～2024年3月

第2土曜日原則、午後2時～5時、全10回

開催場所：会場（TKP市ヶ谷カンファレンスセンターあるいはTKP新宿西口カンファレンスセンター）およびZoomによるハイブリッド

参加費：60,000円

参加人数：35名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(5) 組織で働くための精神分析—そこで生き延び貢献する術として—

ベーシックコース（第2期）

目的：多くの臨床家が何らかの組織（医療、教育、福祉、司法など）に所属し、その中で臨床家として業務を行いながら、組織の一員として組織との間でさまざまな困難を体験しておられると思います。精神分析は、そんな臨床家が組織の中で生き抜き、同時に組織に貢献するために有効なツールになると考えますし、すでに実践しておられる方もいらっしゃると思います。そうした実践を持ち寄り、議論することを通して、参加者が組織で働くための精神分析について体験的に学ぶことを目指します。参加にあたっては必ずしも精神分析の知識は必要としません。

対象：医師、公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士をはじめとする、「組織で働くための精神分析」に興味をもっておられる、守秘義務のある臨床家の方々

講師：白波瀬丈一郎（精神科医：東京済生会中央病院）、三浦有紀（公認心理師・臨床心理士：東京済生会中央病院）

ゲストスピーカー：岡田暁宜（慶應義塾大学）、荻野達史（静岡大学）、秋田悠希（中野区児童相談所）

日程：2023年4月～2023年11月

第2日曜日原則、午後1時30分～4時30分、全7回（8月休み）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム（9/10のみTKP東京駅カンファレンスセンター）およびZoomによるハイブリッド開催

参加費：35,000円

参加人数：23名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

(6) 組織で働くための精神分析—そこで生き延び貢献する術として—

アドバンストコース（新規）

目的：このセミナーは、2022年度まで「臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー・アドバンストコース」という名称でおこなってきたものです。この度、その対象範囲を「産業メンタルヘルス」の領域から、臨床家である私たちが組織の中で生き延び、そして組織に貢献する活動へと拡大して、如何に活動するかを議論することにしました。それに伴い、セミナーの名称を変更することにしました。この議論は、事例検討を通して行います。検討は、メンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ KEIO Employee Assistance Program）をはじめ、病棟運営やコンサルテーション・リエゾン精神医学などで培った、精神分析的および精神力動的な知見に基づきますが、加えて参加者の経験に基づく考えも積極的に取り入れていきます。本セミナーを、組織における日々の活動を振り返ったり、意見交換を行ったりする場にするすることで、受講者の皆さんの臨床活動に貢献したいと考えております。

対象：2020年度までの「臨床家のための、産業メンタルヘルスセミナー」、「臨床家のための産業メンタルヘルス実践セミナー」、2022年度「組織で働くための精神分析」修了者

講師：白波瀬丈一郎（精神科医：東京済生会中央病院）、三浦有紀（公認心理師・臨床心理士：東京済生会中央病院）

開催日時：2023年4月～2024年2月

第2日曜日、午前10時～12時、全10回（8月休み）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム（9/10のみTKP東京駅カンファレンスセンター）およびZoomによるハイブリッド

参加費：30,000円

参加人数：16名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

（7）精神分析志塾（第8期）

目的：精神分析志塾は、臨床力の向上とともに、臨床での学びを創造的に表現する力を高めることを目指します。中堅臨床家から成るクロズド・ワークショップの形態で学びます。なお、開講8年目になりました今年度は、第一部を塾長講義とします。

対象：中堅臨床家（臨床経験7年以上【院生修士時代を除く】、精神分析学会一般演題の発表経験を有す）

講師：松木邦裕

開催期間：2023年4月～2024年3月

第1日曜日原則、午前10時30分～午後3時50分、全11回（12月休み）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

5月、11月はTKP新宿西口カンファレンスセンター

参加費：73,000円

参加人数：20名

企画者：松木邦裕

担当委員：奥寺 崇

（8）力動的理解にもとづくロールシャッハ解釈（第3期）

目的：本セミナーでは、小此木・馬場による解釈技法を足がかりにしながら、ロールシャッハ事例を紐解いていきます。毎回、事例提供者のプレゼンテーションに対して、講師2名が見立てと理解を示します。事例提供者を交えた3名の討論に、セミナー参加の皆様が加わることで、多角的な事例理解が展開することでしょう。このセミナーでは、「担当講師から正解を学ぶ」という非臨床的なスタンスから脱却し、臨床素材から自由に連想し、生きた対象者理解を得られることを目指したいと思います。

開催日時：2023年6月～11月

第4日曜日原則、午後1時30分～4時45分、全6回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド

講師：吉村聡・北村麻紀子・人見健太郎

対象：ロールシャッハ法の基本を取得している方（経験年数は問わない）

参加費：36,000円

参加人数：30名

企画者：吉村聡

担当委員：吉村聡

(9) 「夫婦・家族面接に活かす精神療法」(新規)

目的：日頃の臨床を行っていく上で、家族関係理解や夫婦関係理解は欠かせません。その関係性と力動をどのようにとらえたらよいのか、ましてや実際に家族や夫婦が来談したときにどのように面接を展開したらよいのかを学ぶ機会は意外に少ないと考えられます。そこでこのセミナーでは家族療法理論や力動的理論を背景に持つ講師陣がこうした皆様の疑問にわかりやすく答えたり、ロールプレイでの実際の面接の持ち方を体験学習したりします。

対象：家族面接や夫婦面接を運用するための理論や枠組みについて学びたい方。その具体的な方法を身につけ実践に活かしたい臨床家の参加を歓迎いたします。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・岡野憲一郎・渡辺俊之・岩井昌也・北島歩美

開催期間：2023年8月～2024年3月

第4土曜日原則、午後2時～5時、全8回

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド

(ただし、1月、2月はロールプレイのため会場での開催)

参加費：36,000円

参加人数：16名

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

(10) 子どもの心の発達セミナー(第8期)

「発達障がい(特性)をもつ子どもの親/保護者/養育者との面接・ワーク」

目的：今年度のテーマは、発達障がい(特性)をもつ児童期、思春期の子どもの保護者との面接やワークです。第1回目は平井正三先生から、主にクライン派の精神分析的心理療法の観点で児童期の子どもの保護者との面接やワークについて、第2回目は岩宮恵子先生から、主にユング派の分析心理学の観点で思春期の子どもの保護者との面接やワークについてご講義いただきます。臨床経験豊かな講師と一緒に、「難しい」と言われているし、実際に難しい保護者との面接やワークについて考え、学んでいきます。受講生の方たちにとりまして、日々の臨床の助けやヒントを得られる機会になればと思います。

対象：医療、福祉、教育、司法領域で児童青年に関わっている専門家、近接領域の専門家、大学院生、事例の守秘を厳守できる方。

講師：平井正三・岩宮恵子

司会：脇谷順子

開催日時：1回目7月30日(日)午後1時～5時

2回目11月23日(木・祝)午後1時～5時

開催場所：1回目は小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド

2回目はZoomによるオンライン

参加費：11,000円(1回のみ参加6,000円)

参加人数：2回参加が20名、7/30のみ参加が3名、11/23のみ参加が5名

企画者：脇谷順子

担当委員：脇谷順子

(11) 乳幼児観察セミナー(第8期)

目的：今年度は、乳幼児観察の臨床的応用として、乳幼児観察の経験によって治療者の技量への寄与、ワークディスカッションにおける討論の面白さ、さらに組織への新たな視点を

提供するということ、興味深いテーマについて論じるつもりです。乳幼児観察は奥深く、臨床家に多大な貢献を為すことが知られていますが、さらに乳幼児観察の重要性を再確認したいと思います。また、本セミナーは我が国で行われている乳幼児観察に関する研究会の中心となるようなフィールドとなることを目論んでいます。

対 象：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

講 師：菅田雄介・御園生直美

司 会：脇谷順子・木部則雄

討 論 者：木部則雄・鈴木 龍

開催日時：1回目 2023年9月17日（日）午後1時～5時

2回目 2024年3月17日（日）午後1時～5時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよび Zoom によるハイブリッド開催

参加費：12,000円

参加人数：15名

企画者：木部則雄

担当委員：木部則雄

（12）小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解（V期）—：3. クライン派の臨床主題

目 的：系統的に論文講読に取り組む演習形式セミナー。メラニー・クラインは、現代の精神分析の重要な源泉の一つであり、優れた直観と観察に基づいて多くの独創的な見解を展開しました。第V期3年目の本年度は、クラインを発展させて現代クライン派の礎となり、更に独自の展開を示した、ビオン・ビック・ローゼンフェルド・メルツァー・オショネシー・ジョゼフらの仕事を取り上げます。主題の継時的な発展を見ることで、初めて触れる方にとっても改めて取り組む方にとっても、現代に通底する広がり理解する機会となるでしょう。本年度からの参加も可能です。

対 象：テキストを読んで毎回参加し、年に何回かレジュメ作成と発表ができる方

講 師：福本 修・平井正三（特別講師）

開催期間：2023年4月～2024年3月

第2金曜日原則、午後7時～10時、全12回

開催場所：Zoom によるオンライン

参加費：60,000円

参加人数：14名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

（13）小寺臨床講読ワークショップ

—フロイトの系統的理解（VI期）—：3. 新たな分析的諸見地（1920-1939）

目 的：本ワークショップでは、参加時間の中でフロイト読解を体験し、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指します。2023年度は、非神経症構造を論じた1920年以降のフロイトの展開を取り上げます。集団力動の理解・改訂された欲動論・超自我-自我-エスの内的構造論・トラウマの問題など、現代の精神分析に直結している論文を中心に、そこに含まれている興味深い概念を検討すると同時に、臨場感ある現代論文を参照します。3年間で全体をカバーする予定です。

対 象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講 師：福本 修

開催期間：2023年4月～2024年3月

第3金曜日原則、午後7時～10時、全12回

開催場所：Zoomによるオンライン

参加費：60,000円

参加人数：20名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

(14) 英国独立学派の講読セミナー（第5期）

目 的：4年目のボラスを経て今年度はT. オグデンの主要論文を取り上げ多層的な理解を深めたい。各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

開催日時：2023年5月～2024年3月

第4日曜日原則、午後2時～4時30分、全10回（8月除く）

開催場所：クリニックおくでら（小田急小田原線 経堂駅 徒歩5分）

講 師：奥寺 崇

対 象：フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・講読セミナーの受講経験がある専門家

参加費：40,000円

参加人数：9名

企画者：奥寺 崇

担当委員：奥寺 崇

(15) フランスの精神分析（『精神分析・精神病理の臨床研究』第二期）（第2期）

目 的：フランスの精神分析と言えば、ラカンの名前と結びつけられて語られることが多いが、それはあくまで、その潮流の一つでしかない。フランスには、ラカン以外にも数多くの独創的な精神分析理論が、展開も継承もされないまま散らばっているが、その存在は日本の臨床家のあいだには知られていない。それらの理論の可能性を再検討することがこのセミナーの目的である。前年度は、アンドレ・グリーンの仕事を中心に、フランス精神分析の全体像を把握することを試みた。第二期では、グリーンを出発点にし、さらに広範なテキストを読解する予定である。

対 象：臨床に携わり、毎回指定された文献を精読したうえ、参加できる人

講 師：十川幸司

開催日時：2023年5月～2024年3月

第3日曜日原則、午後1時30分～4時、全9回（7月、1月休み）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加費：30,000円

参加人数：9名

企画者：十川幸司

担当委員：十川幸司

(16) ウィニコット『子どもの治療相談』を読む(第2期)

目的：ウィニコットが最晩年に到達した方法論 Therapeutic Consultation について、翻訳されている本『子どもの治療相談』を通して読む、という講読セミナーの後半です。今年は、本の後半の、反社会的傾向の事例を取り扱います。毎回一つから二つの事例を取り上げて、事例のやり取りを詳細に議論していくという形で進みます。

対象：各自「子どもの治療相談」(岩崎学術出版)、そしてサブテキストとして「ピグル」(金剛出版)を購入してください。

司会(ファシリテーター)：妙木浩之

開催日時：2023年6月～2024年2月

第1月曜日原則、午後7時～9時、全6回(7月、9月、1月休み)

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよび Zoom のハイブリッド

参加費：21,000円

参加人数：22名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

2. 単発セミナー

(1) 精神分析—医学生・研修医セミナー(第16回)

目的：臨床医をめざす医学生・研修医に、人間の心を深く見つめる精神分析の世界について、充実した内容をコンパクトに解説するものです。

開催日時：2023年10月15日(日)午前9時30分～午後6時

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよび Zoom のハイブリッド

講師：藤山直樹・松木邦裕・白波瀬丈一郎・高野晶・池田暁史・岡村斉恵

対象：医学生、および研修医・専攻医、(初期/後期研修医、医学部5・6年生を優先)

内容：レクチャー

参加費：医学生6,000円、研修医8,000円

参加人数：20名(医学生4名、研修医16名)(定員30名)【収支差額：-42万2129円】

企画者：池田暁史

担当委員：池田暁史

(2) タヴィストックセミナー(第15回)

“Building blocks: a psychoanalytic contribution to the treatment of children in the autistic spectrum”

目的：2023年度は、子どもと成人の精神分析者資格を持つ Ms. Shirley B Hiscock に、自閉スペクトラムの世界について基礎概念からご講義いただき、詳細な臨床素材を通じて検証していきます。本年度は子ども、2024年度には成人の事例について解説していただきます。

開催日時：2024年2月24日(土)18時～22時

(講師の都合により2023年12月16日(土)から変更)

開催場所：Zoom によるオンライン

対象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方(臨床経験の多寡は問いません)

講師：Shirley B Hiscock (英国精神分析協会児童分析家&フェロー精神分析家、タヴィストック)

ク・クリニック、ロイヤルフリー病院+個人開業)

司 会：福本 修（代官山心理・分析オフィス/長谷川病院/きしろメンタルクリニック）

討 論：木部則雄（こども・思春期メンタルクリニック/白百合女子大学人間総合学部）

通 訳：山本 文（株式会社 Brave JAPAN）

参加費：6,000 円

参加人数：45 名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

（3）関係性精神療法セミナー（第 13 回）

「臨床における多様性～ジェンダー、地域、世代、学派～」

目 的：2023 年も、重要であるが普段あまり省みられることの少ないテーマを選んだ。臨床実践には一つとして同じものはない。一方で、精神分析の各種理論はそれぞれある程度一般化された臨床実践のイメージを提供する。多様性が叫ばれる現在、私たちは、精神分析のどこに、どのように、どのような多様性を見出すことができるのだろうか。あるいは、世の中の多様性は私たちの臨床実践にどのように影響を与えているのだろうか。本セミナーでは、ジェンダー、地域、世代、学派といった切り口から、このテーマについて論じてみたい。

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

開催日時：2023 年 7 月 2 日（日）午前 10 時～午後 3 時

開催場所：Zoom によるオンライン

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発表者：長川歩美（A&C 中之島心理オフィス）・富樫公一（甲南大学）

岡野憲一郎（本郷の森診療所）・吾妻壮（上智大学）

司 会：岡野憲一郎・富樫公一

参加費：5,000 円

参加人数：34 名

企画者：岡野憲一郎

担当委員：岡野憲一郎

（4）力動的心身症臨床セミナー（第 3 回）

目 的：2021 年から「力動的心身臨床セミナー」を開催しています。2023 年には、第 3 回として緩和ケアや移植などの身体疾患をめぐる力動的な理解とアプローチをテーマにします。総合病院精神医学における臨床実践は、心身医学や力動的な実践が有用な領域です。今回は、現在、大学病院で活躍する臨床家から貴重な臨床経験をお話いただき、開業医、大学病院の心理職といった立場の異なる臨床家との討論を通じて、参加者との活発な議論を行いたいと思います。

開催日時：2023 年 9 月 18 日（月・祝）午後 1 時～4 時 30 分

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよび Zoom のハイブリッド

対 象：心身症臨床に関心があり、臨床経験を有する方。

講 師：高橋彩子（昭和大学病院緩和医療科・緩和ケアセンター）

木村宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）

司 会：高野 晶（北参道こころの診療所）

討 論 者：小林 陵（横浜市立大学附属病院）
加茂聡子（四谷こころのクリニック）

参 加 費：5,000 円

参加人数：31 名

企 画 者：岡田暁宜

担当委員：岡田暁宜

（5）学際的ワークショップ「精神分析の知のリンクにむけて」（第 8 回）

『心、身体、時間』

目 的：心、身体、時間とは何か、それらは相互にどのように関係しているか—この問いは精神分析理論の中核に位置している。フロイトは初期の「心的装置」で、記憶痕跡を手がかりに、この問題に先鞭をつけた。その後、彼は自我、エス、超自我からなる「第二局所論」で、この問題を新たな角度で再考し、晩年に至るまで精神分析固有の時間・空間の理論化を試みた。今回のワークショップでは、快著『世界は時間でできている』（青土社）で、時間の謎を一望のもとに解明しうる、明快な構想を提起している平井靖史氏、『カオスに抗する闘い—ドゥルーズ・精神分析・現象学』（人文書院）で、ラカンのシニフィアン概念を批判し、形象（かたち）概念を中心に据えて、平井氏とは異なった方法で、記憶、時間の問題にアプローチしている小倉拓也氏をお招きし、臨床家との対話を試みる。

開催日時：2023 年 10 月 9 日（月・祝）午後 1 時～5 時

開催場所：小寺財団セミナールームおよび Zoom ウェビナーによるハイブリッド

対 象：精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

発 表 者：平井靖史（福岡大学）・小倉拓也（秋田大学）

討 論 者：十川幸司（個人開業）

司 会：藤山直樹（個人開業）

参 加 費：3,000 円

参加人数：27 名

企 画 者：十川幸司

担当委員：十川幸司

（6）初回面接入門：力動フォーミュレーションとビデオ録画（第 4 回）

目 的：ビデオによる面接の研究および訓練のためのディスカッション、そして並行して見立てのための力動フォーミュレーションの訓練を行ってきた先生方を中心に、午前午後にわたって、それら二つを組み合わせ、単発のセミナーを行います。また、今年度は前年度までの参加者からの希望により、事前に「初回面接」についての総論的な講義をオンデマンドで提供します。臨床歴の長い人にとっては自分の初回面接と見立てを見直す機会に、臨床歴の浅い人にとっては初回やフォーミュレーションの入口を学ぶ機会になると思われます。

対 象：精神分析的な心理療法家を目指す臨床家の方々

開催日時：2024 年 3 月 20 日（水・祝）午前 10 時～午後 4 時 30 分

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよび Zoom のハイブリッド

講 師：妙木浩之・千葉ちよ・山崎孝明

司会進行：加茂聡子

参加費：8,000円
参加人数：38名
企画者：妙木浩之
担当委員：妙木浩之

(7) リチャード・ラスブリッジ先生との臨床セミナー（新規）

部分対象の構造と機能—クライン派の臨床実践—

目的：この度、日本精神分析学会第69回大会（2023年11月3日～5日、広島）で講演される予定のリチャード・ラスブリッジ先生に、それに先立ち東京で、別のご講演と臨床検討会からなる臨床セミナーを開いていただけることになりました。ラスブリッジ先生は、クライン派の子供と成人の分析者です。日本でもエディプス・コンプレックスについての論文は、既にお読みの方も多いでしょう。講義と事例検討を併せて行なう本セミナーが、更に理解を深める機会となれば幸いです。

対象：精神分析に関心があり、守秘義務を守れる方。

参加にあたって、ケースセミナー誓約書の提出が必要。

開催日時：2023年10月29日（日）午前10時～午後3時15分

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomのハイブリッド

共催：日本精神分析協会

講師：Richard Rusbridger

司会通訳：福本修、奥寺崇

討論：奥寺崇、福本修

事例発表：岡田淳子

参加費：6,000円

参加人数：52名

3. 記念事業

小寺記念精神分析研究財団設立30周年記念シンポジウム

「日本の精神分析、これまでとこれから」

目的：日本の精神分析の発展に寄与するという目標の下に財団は30年間活動してきた。このあいだに日本の精神分析を取り巻く状況は大きく変化してきた。精神医学の領域でも臨床心理学の領域でも精神分析とのインターフェースがしだいに狭められているといえるかもしれない。そして、個人が自分の内面を変化させるということから、個人をさまざまな資源によってケアすることへと、社会のニーズは変わってきているという見方もある。日本という、欧米ほど精神分析が根づかなかった国において、精神分析はこれからどのように生きていく意味を見出せるのか、精神分析的臨床に関わる者は深く考えるべき時期に来ているだろう。30周年を記念するこのシンポジウムでは、さまざまな立場の演者に、日本の精神分析的実践の過去・現在・未来を広い見地から見渡していただき、有益な示唆を得られることを期待する。そして、分析的実践の若手の担い手と討論の時間を持つ。

対象：広く日本の精神分析に関心を持つ方々

開催日時：2024年2月12日（振替休日・月）午後1時～4時30分

開催場所：明治記念館 富士の間（1）

参加費：4,000円

参加人数：一般参加者 205 名、招待者 44 名

司 会：藤山直樹・相田信男

パネリスト：信田さよ子・東畑開人・笠井清登・國分功一郎

討 論 者：池田暁史・吉村聡・鈴木菜実子

II. 出版・広報事業

財団設立 30 周年記念誌の発行、セミナーの宣伝におけるホームページや SNS の活用、メールによる情報発信に備えた名簿の整理、など。

担 当：岡野憲一郎